

入選

生き物達の水環境について

福島市立大鳥中学校 三年 掃部かもん 夏央なつお

みなさんは、「水」というと何を思い浮かべますか。飲むための水、空から降る雨、広大な海など色々なものが出てくると思いますが、僕は真っ先に様々な生き物がくらす水辺、川や海などを思い浮かべます。

僕は小学生の頃から魚が好きで、休みの日は近所の川へ行き、網で魚を採ったり、魚釣りをしたり、そうでないときでも下校中に橋の上から魚が泳いでいるのを眺めたりして、日常的に川の魚とふれ合う生活をしていました。川には色々な魚がいて、イワナやヤマメ、アブラハヤなどたくさんいるものから、アカザやイトヨなどのめずらしい種類のもので見られ、川やその周りの自然がとても豊かだという感じさせられました。

僕は、中学生になるまでに色々な地域の川や池を

見てきましたが、その中で、生き物の少ない水辺と生き物の多い豊かな水辺の違いが分かるようになってきました。水がきれいで岸にたくさん草が生えているようなところは生き物が多く、コンクリートでかためられ、きたない水が流れているようなところは生き物が少ないという感じでした。そして、僕が見てきた中でも生き物の多い豊かな水辺は、生き物の少ない水辺よりも少ない気がします。これは、僕の勘違いかもしれませんが、みなさんも、たくさん魚が泳ぐ豊かな川よりも、コンクリートでかためられた生き物の気配の無い川の方がよく見られると思います。これはなぜなのか、僕は考えました。一つは、近年増えてきた豪雨による災害への対策が原因だと思えます。雨による増水で川がはらんしないよう川幅を広げ、さらに水が流れやすいように木や

草などを取り除いた結果、生き物の住む場所がなくなってしまうたのでしよう。そして、もう一つ挙げられるのは、僕たち人間の、意識の低さだと思えます。以前、別の地域に魚採りに行ったとき、家庭排水がそのまま流れている水路を見たことがあります。下水処理の設備が整っていないこともあり、ひどい悪臭で、もちろん魚や生き物の姿はありませんでした。それが川にそのまま流されていたので、その川の生態系にも影響がでていると思います。

こういった問題を解決するには、僕たち一人一人が意識して行動することが大切だと思います。食器洗いのおきに油を吸い取ってから洗ったり、洗剤を使わずに洗えるように注意したり、川にゴミを捨てないなど色々できることがあります。まずは、たくさんの方に川や海などの様々な生き物たちのことを知ってもらおうことが重要だと思います。水の中の生き物のくらしを知られば、川や海を汚すなんてできなくなるはず。もうこれ以上、生き物のいない寂しい水辺が増えないことを願います。

中学生になってから、僕は川よりも海に通うこと

が多くなりましたが、港では、マスクやビニール袋などのゴミがまとまって浮かんでいるのをよく目にします。また、カツオ漁船が入っているときは、とれた魚を入れていた水そうの水を海に流すため、港のまわりはひどい悪臭で、漁師さんは、海も汚れるし船も汚れるので大変だと話していました。ゴミや漁船の排水などの問題も解決するのは難しいと思いますが、これもやはり一人一人の意識だと思います。川や海などの水環境を守ることは、僕たちの生活にかかせない水を守ることもつながります。みなさんも、この機会に川や海などの生き物について調べてみてはどうでしょうか。きっと考え方が変わると思います。